

24春闘を職場・地域から闘う

葛飾区労協旗開き

「葛飾区労働組合

協議会」(葛飾区労協

・三浦徹也議長)は1

月26日、第11回定期総

会と24旗開きを東京・

葛飾青戸地区センター

で開催した。

加盟労組の組合員や

来賓60人余が出席し、



「南京玉すだれ」を披露するJHUの下村さん

交流と連帯を深めた。

総会では小笠原邦人副

議長(全労)が司会を

務め、筋養縮性側索硬

化症(ALS)と闘う

三浦議長(東京清掃労

組)が能登半島地震や

パレスチナなどでの戦

争に触れながら「資本

と闘う仲間、それを支

える仲間、仲間を大切

にする労働組合の役割

が強くなっている。病

気の進行で自分がしや

べることができなくな

っても仲間と声を上げ

ていくことを誓う。私

の叫びを受け止めて頑
張ろう」と訴えた。

続いて、須田光照事

務局長(東部労組)が

議案提起と共に「葛飾

区労協は結成から11

年、争議を闘う仲間を

よつてたかつて支えよ

うという方針でやって

きた。闘いで三浦議長

の決意に応え、ともに

生き、働き、闘い、地

域の労働者の力で戦争

を止め、差別をなくそ

う」と訴え、出席者の

拍手で確認した。

旗開きは葛飾区労協

顧問の清水洋さん(元

国労)の乾杯ではしま

り、来賓として、東部

全労協、葛飾区労連、

足立連絡会、荒川区労

評、江戸川区労働組合

センター、墨田労組

連、朝鮮総連葛飾支

部、在日韓国民主統一

連合、社民党都連、福

島みずほ参議院議員、

新社会党東京都本部・

中央本部、みずま雪絵

葛飾区議らから連帯あ

いさつを受けた。

その後、JAL被解

雇者労働組合(JHU)、東部労組のフソ

ー化競争議の北澤さ

ん、ピーエス三豊争議

のアミンさん、マツモ

ト争議の相原さんがそ

れぞれアピールし、葛

飾区労協に加盟してい

る各労組の代表から闘

う決意表明があった。

アトラクションで、

JHUの下村京子さん

が『南京玉すだれ』を

披露し、会場を沸かせ

た。参加者全員で『イ

ンターナショナル』と

『がんばろう』を、歌

い、最後に三浦議長の

団結カンパニーで閉会

した。

(須田光照)